

PRsj

PUBLIC RELATIONS
SOCIETY OF JAPAN

NEWS

2022年4月号

NO. 339

TOPICS

外国人の顔をした五百羅漢

(公社)日本パブリックリレーションズ協会 理事 殿村美樹

MESSAGE P4

パブリックリレーションズ実務講座 2022「パブリックリレーションズ実務講座」を開講

ATTENTION P5

「パブリックリレーションズ入門Web講座 2022」5月開講

ATTENTION P9

2022年度PRプランナー資格認定検定試験 実施スケジュール

ATTENTION P11

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木6丁目2番31号 六本木ヒルズノースタワー
5F 電話(03)5413-6760 ファックス(03)5413-2147

URL <https://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-27 桜橋千代田ビル3F
電話(06)6344-3002 ファックス(06)6344-3005

発行人: 畔柳 一典

4月号目次

4月～5月のスケジュール		-----	2
MESSAGE(メッセージ)	外国人の顔をした五百羅漢	-----	4
ATTENTION(お知らせ)	パブリックリレーションズ実務講座2022「パブリックリレーションズ実務講座」を開講	-----	5
//	「パブリックリレーションズ入門Web講座2022」5月開講	-----	9
//	2022年度PRプランナー資格認定検定試験 実施スケジュール	-----	11
REPORT(講演レポート)	第219回定例研究会(正会員・個人会員限定)	-----	12
協会掲載記事	PRSJ in Media	-----	13

4月～5月スケジュール

【オンライン】 広報・PRスキルアップ実践講座⑤ 「企業文化醸成」	日 時 : 3月3日(木)～4月20日(水) テーマ : TOPPANの企業文化醸成 ～社会的価値創造企業への変革と取り組み～ 講 師 : 凸版印刷(株) 広報本部 広報ディレクター 渡邊幹夫氏
【オンライン】 広報・PRスキルアップ実践講座 ⑥「インターナル・コミュニケーション」	日 時 : 3月24日(木)～5月8日(月) テーマ : 「ポッドキャスト」でつなぐ会社と社員アメックス流の社内コミュニケーション 講 師 : アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc. 広報・副社長 津釜宜祥氏
【オンライン】 デジタルPR集中講座 講義1 「企業広報担当者が考える『デジタル PR』 ～PESOメディアの特性と活用～」 講義2 「ナラティブカンパニー～デジタルコミュニケーション時代における物語の紡ぎ方～」 講義3 「“好き”のチカラを最大化 ファン重視のアンバサダープログラム～SNSを活かすアンバサダー的アプローチ～」	日 時 : 3月15日(火)～4月25日(月) テーマ : デジタルツールの活用ポイントと生活者との関係性作りにおけるデジタルコミュニケーションの役割 講 師 : Zホールディングス(株) 広報・IR統括部 広報部 部長 飯田真吾氏 : (株)本田事務所 代表取締役/PRストラテジスト 本田哲也氏 : アジャイルメディア・ネットワーク株式会社 マーケティング部 部長 兼 エバンジェリスト 出口 潤氏
【オンライン】 パブリックリレーションズ入門Web講座 (春期)	日 時 : 5月17日(火)～6月27日(水) <予定> テーマ : 「実務の基本を学ぶ新任者向け講座」 講 師 : 株式会社電通PRコンサルティング 執行役員 企業広報戦略研究所 所長 阪井完二氏をはじめ全11名

4月～5月の理事会・委員会・ 部会スケジュール

定例理事会	(4月度)	日 時	: 4月 14日 (木)	16:00～17:30
		会 場	: 霞会館+オンライン	
	(5月度)	日 時	: 5月 12日 (木)	16:00～17:30
		会 場	: 未定	
教育委員会	(4月度)	日 時	: 4月 20日 (水)	13:30～15:00
		会 場	: オンライン開催	
資格委員会	(4月度)	日 時	: 4月 28日 (木)	12:00～14:00
		会 場	: オンライン開催	
国際・交流委員会	(4月度)	日 時	: 4月 1日 (金)	16:30～17:30
		会 場	: オンライン開催	
広報委員会	(4月度)	日 時	: 4月 28日 (木)	16:00～17:00
		会 場	: オンライン開催	
顕彰委員会	(4月度)	日 時	: 4月 26日 (火)	15:00～16:00
		会 場	: オンライン開催	
企業部会幹事会	(4月度)	日 時	: 4月 6日 (水)	17:00～18:00
		会 場	: オンライン開催	
PR業部会幹事会	(4月度)	日 時	: 4月 19日 (火)	16:00～17:00
		会 場	: オンライン開催	

外国人の顔をした五百羅漢

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
理事 殿村美樹

新年度が始まりました。長引くコロナ禍を尻目に「今年こそは」と練りに練ったリベンジプランを進めたい！とは思いますが、2月末にロシアがウクライナに侵攻して世界が突然、不穏な空気に包まれてしまいました。この状況の中でアグレッシブなプランを進めて良いものか、心がもやもやして踏み出せません。

そんな時、私はしばしば地方に埋もれた遺産の物語に耳を傾けます。誰にも振り向かれず、研究対象からも外された遺産ほど、意外なヒントを与えてくれるからです。

兵庫県加西市の古寺に群居する外国人の顔をした五百羅漢もそのひとつ。五百羅漢とは仏陀に付き添った500人の弟子とも、仏陀と同じ境地に達した者ともいわれる仏教由来の阿羅漢のこと。全国に複数ありますが、どの五百羅漢も日本人の顔をしており、自分に似た仏様が必ずいるとも言われています。

しかしこの五百羅漢はどう見ても外国人。しかも鼻が高く彫の深い西洋の顔立ちで、背中に十字が刻まれた石仏もあります。もしかしたら江戸時代に弾圧された隠れキリシタンかもしれません。だとすれば、彼らは強固なはずの宗教の壁を超えて、五百羅漢と化したことになります。よほどの事情があったに違いありません。

どうしても伝えたいメッセージがあったのでしょうか。当時の日本社会にキリシタンの言葉は響かないから、五百羅漢に姿を変えて伝えようとしたのでしょうか。ところがこの石仏群は最近まで土中に埋められていました。彼らが伝えようとしたメッセージは届かないどころか、葬られてしまったのでしょうか。そして数百年を経た今、ようやく発見されて、山深い自然の中で、ただ静かに佇んでいるのです。



ふと、アメリカ映画「バットマン」の名言「彼は必要だが、今は時が違う」を思い出しました。シリーズ第2作「ダークナイト」のラストシーンで、殺人鬼と化して死んだ友人の名誉を守るために、すべての罪を背負って去るバットマンに向けられた言葉です。愛に満ちたヒーローでも、時が違えば社会の理解が得られないことを示唆しています。

つまり「時が違う」メッセージはどんなに頑張っても伝わらない、ということです。外国人の顔をした五百羅漢のように、宗教の壁を超えるほど強い想いで伝えようとしても無視され、葬り去られてしまうのです。だったらみずから土中に埋めて、時を待つ。そんな選択肢も必要かもしれません。発掘の時は必ず巡って来るのだから。

パブリックリレーションズ実務講座 2022

今年度は「パブリックリレーションズ実務講座」を開講 ～3レベルに整理し「試験対策講座」とあわせ 15 講座を開講～

教育委員会

協会・教育委員会では、2022 年度に開講する広報研修「パブリックリレーションズ実務講座」の計画をまとめ、その概要を公開しました。

2022 年度は講座体系の名称を協会の中期計画の基本方針「PR パーソンからパブリックリレーションズ・プロフェッショナルへ」と連動して「広報・PR 実務講座」から「パブリックリレーションズ実務講座」に改め、より内容の充実をはかります。

計画では、講座の構成を新任・入門者向けの「入門プログラム」、一定の業務経験のある人々を対象とする「中級（中堅実務）プログラム」、さらに広報部門の管理職を対象とする「管理者プログラム」の 3 レベルに整理し、全 12 講座を開講します。

さらに PR プランナー試験受験者の準備を支援する「PR プランナー試験対策講座」も、1 次試験から 3 次試験をそれぞれ対象とする 3 講座を設け、オンデマンド方式で開講します。

また、「パブリックリレーションズ実務講座」の一環として 2023 年 1 月には新春を祝して開催する「新春 PR フォーラム」において、著名講演者による特別講演もしくは話題のテーマについてその分野に造詣の深いパネリストを招きパネルディスカッションの実施を予定しています。

さらに 2 月には、長年にわたり当協会が主催し PR 関係者の注目を集めている「PR アワードグランプリ」の 2022 年度における受賞エントリー、審査のポイントや受賞エントリーの傾向、そこから読み取れる PR の最新潮流などを紹介する「PR アワード受賞事例公開セミナー」も開催する予定です。

なお、新型コロナウイルス問題の継続を考慮し、今年度も当面オンライン方式による開講を続けます。受講者の安全確保を基本方針とし、社会状況に応じて講師、受講者相互の交流も可能な実施方式についても検討し導入をはかります。

2022 年度「パブリックリレーションズ実務講座」の第一弾として、新入者や異動にともなう春からの新任実務者を主な対象とする「パブリックリレーションズ入門 Web 講座（春期）」をオンデマンド方式で開講します。

本講座は毎年多数の新任者が受講しており、今年も多くの新任実務者の受講を見込んでいます。今回は、1 コースあたり 2～3 講座と受講しやすいよう細分化し 4 コース 11 講座を設けます。4 月中旬には受講案内を開始し、5 月中旬に開講を予定しています。

講座の詳細ならびに受講の申込みは、協会 Web サイトの案内ページをご覧ください。

「パブリックリレーションズ入門 Web 講座」講座案内ページ（4 月中旬公開予定）

<https://prsj.or.jp/event/entry-course2022/>

なお教育委員会では、今年度はメディア関係者などを講師として招く「定例研究会」についても、実施方法を改訂します。詳細については、別途ご案内を行います。

「パブリックリレーションズ実務講座 2022」 開講予定

以下は、2022年4月現在の開講予定です。開講内容については変更の可能性がありますので、受講申込みの際は必ず協会Webでご確認ください。

■入門プログラム

●パブリックリレーションズ入門Web講座

講座名	講座概要	開講時期	構成	方式
パブリックリレーションズ入門Web講座(春期)	新入社、社内異動等により春期に着任する新任実務者が対象。パブリックリレーションズの基本をはじめとして、業務に欠かせない最も基本的な知識、スキルを習得する。	2022年 5月	全11 講座	オンデ マンド
パブリックリレーションズ入門Web講座(秋期)	社内異動等により秋期から着任する新任実務者が対象。パブリックリレーションズの基本をはじめとして、業務に欠かせない最も基本的な知識、スキルを習得する。	2022年 10月	全10 講座	

■中級(中堅実務)プログラム

●パブリックリレーションズ実務中級講座(集中編)

講座テーマ	講座概要	開講時期	構成	方式
チームリーダー実務集中講座	不祥事や事故、経営的な失態など組織体における危機発生に際し、その原因、対応における成功や失敗について理論やケーススタディを通じて理解を深め、実務者が備えるべき心構えや対応のポイントについて講義を通じて習得する。	2022年 6月	60分X3 講座	オンデ マンド
マーケティングPR集中講座	製品・サービスの市場導入、普及を目的とするマーケティングPRをテーマに、主にデジタル的な手法を活用する考え方、計画の立案について3つの講義を通じてそのポイントを収録する。	2022年 11月		
デジタルPR集中講座	デジタル化が進んだコミュニケーション環境の現状や特性を理解するとともに、プランニングの考え方や実務においてデジタルを活用するポイントについて、3つの講座を通じて習得する。	2023年 3月		

●パブリックリレーションズ実務中級講座（単独編）

テーマ	講座概要	開講時期	構成	方式
コーポレート・コミュニケーション	企業経営におけるパブリックリレーションズの位置付けや役割、コミュニケーション戦略や計画の立案など企業広報のポイントについて、コーポレート・コミュニケーションの理論や企業のケーススタディを通じて学ぶ。	2022年 7月	各 60分	オン デマ ンド
PRプランニング	戦略的なコミュニケーション活動の基礎となるPRプランニングに必要となる基本的な考え方や手法について、ケーススタディを交えて学ぶ。特にデジタルを活用するコミュニケーション活動を重視する。	2022年 9月		
インターナル・コミュニケーション	対外的なコーポレート・ブランディングと、企業あるいはグループ内を対象とするインターナル・コミュニケーションを統合的に計画し実行する最近のコミュニケーション手法に注目し、ケーススタディを通じて考え方や手法を学ぶ。	2022年 10月		
グローバル・コミュニケーション	グローバル化を背景として、国内にとどまることなく国境を超えたステークホルダーを対象とするグローバルなコミュニケーション活動の実際について、ケーススタディを交えて学ぶ。	2022年 11月		
経営理念と企業文化	社内、グループ内における経営理念の浸透、企業文化の醸成をテーマに、企業としての取り組み、社内外を対象に進めるコミュニケーションについて、その経営的な意味や役割、戦略および施策の立案などのポイントを理論やケーススタディを通じて学ぶ。	2023年 2月		
危機管理広報	不祥事や事故、経営的な失態など組織体における危機発生に際し、その原因、対応における成功や失敗について理論やケーススタディを通じて理解を深め、実務者が備えるべき心構えや対応について講義を通じて学ぶ。	2023年 3月		

■管理職プログラム

●新任広報部長講座

講座名	講座概要	開講時期	構成	方式
新任広報部長講座	広報部長や広報担当役員など広報部門の上級管理職を受講対象として特化し、現職の広報部門上級管理職、報道関係者、法律専門家などを講師として開講する。講師、受講者の交流機会も設け、就任後に直面する数々の悩みについて共有し、講師とともに解決策を探る。	2022年 7月	60分 X 3講座 意見交 換会	オン デマ ンド (一 部ラ イブ)

■PRプランナー試験対策講座

講座名	講座概要	開講時期	構成	定員
1次試験対策講座	パブリックリレーションズにかかわる幅広い分野を平易に解説し、1次試験の合格に必要な知識の習得をはかる。	通年	全15講座	オンデマンド
2次試験対策講座	パブリックリレーションズにかかわる専門分野を平易に解説し、2次試験の合格に必要な知識の習得をはかる。		全14講座	
3次試験対策講座	3次試験の課題となる企画書作成、ニュースリリース、広報・PR計画の立案作成(マーケティングおよびコーポレート)などのテーマについて、講義と演習を通じて合格に必要な知識とスキルを習得する。		全4講座	

■PRSJセミナー

●事例セミナー

講座名	講座概要	開講時期	時間	定員
PRアワード受賞事例公開セミナー	「PRアワードグランプリ」のグランプリをはじめとする優れた顕彰事例を紹介するセミナー。パブリックリレーションズ事例に関心を持つ実務者一般、研究者、学生を対象に、成功したプロジェクト事例を題材に、アイデアの創出や企画推進の考え方、工夫等を学ぶ。	2023年 2月	150分	未定

●新春PRフォーラム

講座名	講座概要	開講時期	時間	定員
新春PRフォーラム	新しい年の国内外の情勢を予測するテーマやPRに関する重要なテーマを設定し、テーマに知見の強い著名な講師によって、様々な角度から問題を掘り下げる。特別講演やパネルディスカッションなどを実施する。	2023年 1月下旬	60~90分	100名

(事務局・真部)

パブリックリレーションズ実務講座 2022

「パブリックリレーションズ入門Web講座 2022」

新任者向けに5月開講

教育委員会

協会では、新入者や異動にともない、この春に新たにコミュニケーション業務の現場に着任する新任実務者を主な対象とする「パブリックリレーションズ入門 Web 講座」を5月中旬にオンライン開講します。

今期は、昨年までの「広報・PR入門 Web 講座」を「パブリックリレーションズ入門 Web 講座」に改称しました。講師には、担当分野に精通した実務専門家、報道関係者、企業広報マネージャー、弁護士を迎え、受講者はパブリックリレーションズの基本をはじめ、企業広報、マーケティング・コミュニケーション、危機管理広報、デジタル・コミュニケーション、広報関連法規、SDGs など幅広い知識を習得することができます。また、ニュースリリースの作成、メディアリレーションズなどコミュニケーション業務においてももっとも基本となる実務スキルを短期間で身に着けることが可能です。

今回、講座は、コミュニケーション業務の基礎となる考え方を学ぶ「パブリックリレーションズの基本」、担当者が備えておくべき重要分野を学ぶ「パブリックリレーションズの重要分野」、日々の業務でとり扱うメディアやツール、コミュニケーションの方法等について学ぶ「メディアとコミュニケーション」、そして実務において必須となるニュースリリースの作成とメディアリレーションズについて講義とワークで学ぶ「コミュニケーション実務の基本」の4コースで構成されます。受講者は、広報・PRの基本を総合的に学ぶ「全コース一括受講」、あるいは個別の業務ニーズやスケジュールに応じて「コース受講」を選択して受講することが可能です。

なお、本講座はオンデマンド方式のオンライン講座として開講します。受講者は、自宅やオフィスなど任意の場所でパソコンやスマホを利用しフレキシブルに学ぶことができます。

基本的な知識やスキルを体系的に学べる本講座。PR会社、企業で、新たに広報・PRの仕事に取り組む多くの皆様の受講をお待ちします。

講座の詳細と受講申込みは、協会 Web サイトの講座ページで4月中旬からご案内します。

■受講料（円、消費税込）

受講コース	協会会員	PRプランナー 資格取得者 (准・補含む)	非会員 (一般)
全講座一括受講	44,000	57,200	66,000
コースA「パブリックリレーションズの基本」	13,200	17,200	19,800
コースB「パブリックリレーションズの重要分野」	13,200	17,200	19,800
コースC「メディアとコミュニケーション」	13,200	17,200	19,800
コースD「コミュニケーション実務の基本」	13,200	17,200	19,800

■「パブリックリレーションズ入門Web講座 2022(春期)」の構成

※講座タイトルはすべて仮題です。予告なく変更することがありますので、申込みにあたっては必ずWebサイトの講座ページをご確認ください。

コースA 「パブリックリレーションズの基本」		
A-1	「『パブリックリレーションズ』とはどんな仕事？ ～『話題づくり』から『価値づくり』へ～」	阪井完二氏 (株)電通 PR コンサルティング
A-2	「企業広報の目的・役割と取組みの実際 ～理念浸透に貢献するコミュニケーションの推進～」	上岡典彦氏 (エバラ食品工業(株))
A-3	「マーケティング・コミュニケーションの基本 ～顧客の心を掴むコミュニケーション～」	梶浦砂織氏 (株)資生堂
コースB 「パブリックリレーションズの重要分野」		
B-1	「SDGs の基本とパブリックリレーションズ」	半澤 智氏 (日経BP 日経 ESG)
B-2	「危機管理広報の重要性とその基本」	松本 太氏 (株)電通 PR コンサルティング
B-3	「広報・PRパーソンが知っておくべき法的ポイント ～関連する法規の基本と業務で気をつけること～」	鈴木悠介氏 (西村あさひ法律事務所 弁護士)
コースC 「メディアとコミュニケーション」		
C-1	「新聞社の現在と今後の報道 ～マスメディアの役割や特性、その実際を学ぶ」	松井 健 氏 (日本経済新聞社)
C-2	「情報構造の変化とデジタルPRの基本 ～デジタルPRの実際～」	肥塚縫伊子氏 (株)博報堂
C-3	「ポストコロナ・リモート時代の発信力の高め方」	岡本純子 氏(コミュニケーション・ストラテジスト)
コースD 「コミュニケーション実務の基本」		
D-1	「ニュースリリース作成の基本と効果的な活用法 ～ニュースリリースは広報・PR実務の基本～ 〈講義と演習〉	西林祐美氏 (株)共同通信PRワイヤー
D-2	「メディアリレーションズは広報・PRの基本 ～メディアを理解しどうつきあうか～ 〈講義と演習〉	田代 順氏 (株)マテリアル

(事務局・真部)

PRプランナー資格認定制度／検定試験

2022 年度

PRプランナー資格認定検定試験 実施スケジュール

資格委員会

PRプランナー資格認定検定試験は、2021年よりすべての試験がCBT方式に変更となりました。2022年度は1次試験から3次試験まで各試験2回、合計6回の試験の実施を予定しています。1次試験申込から3次試験の合否発表までの期間につきましては、試験期間の延長などの理由から従来の一斉試験より若干長くなっています。各試験のお申込みは、資格制度Webサイトから「仮申込」を行った上で、CBTソリューションズのWebサイトで「本申込（試験日・試験会場の選択、受験料の支払いなど）」を経て、申し込みは完了します。



2022年2月に実施された1次試験では、合格者の累計が1万人を超えました。ぜひ受験をご検討いただければ幸いです。

試験	実施日程	仮申込・本申込、合否発表
第31回 PRプランナー資格認定検定試験		
2次試験	2022年6月11日（土） ～6月26日（日）	仮申込期間：～5月27日（金）まで 本申込期間：～6月3日（金）まで 合否発表：7月13日（水）
3次試験	2022年9月予定	仮申込・本申込開始：7月予定 合否発表：10月予定
第32回 PRプランナー資格認定検定試験		
1次試験	2022年8月予定	仮申込・本申込開始：6月1日（水）予定 合否発表：9月予定
2次試験	2022年12月予定	仮申込・本申込開始：9月予定 合否発表：2023年1月予定
3次試験	2023年3月予定	仮申込・本申込開始：2023年1月予定 合否発表：2023年5月予定
第33回 PRプランナー資格認定検定試験		
1次試験	2023年2月予定	仮申込・本申込開始：12月予定 合否発表：2023年3月予定

試験スケジュールにつきましては、変更する可能性もございますので、下記のPRプランナー資格制度Webサイトでご確認くださいませよう、お願い申し上げます。

PRプランナー資格制度Webサイト：<https://pr-shikaku.prsj.or.jp/>



正会員・個人会員限定

第219回定例研究会

**フジテレビ経済部 ニュースに何を求め伝えるのか
～経済報道の現在とこれから～****講 師:株式会社フジテレビジョン
ニュース総局報道局取材センター
経済部長兼解説委員
智田裕一氏**

第219回定例研究会は、2月24日（木）オンラインで開催しました。講師は株式会社フジテレビジョン ニュース総局報道局取材センター 経済部長兼解説委員 智田 裕一氏。テーマは「フジテレビ経済部 ニュースに何を求め伝えるのか～経済報道の現在とこれから～」でした。

PRSJ in Media

● 3月1日（火） 『月刊広報会議』（宣伝会議）4月号

『月刊広報会議』4月号における当協会の連載コラムで、協会が1月20日に開催した「新春PRフォーラム2022」について掲載されています。

記事では、本フォーラムの特別講演として、一橋大学大学院 経営管理研究科 客員教授 名和高司氏をお招きし「パーパス経営とパブリックリレーションズ」をテーマとするお話をうかがったことが紹介されました。

また当日は、2021年度の日本PR大賞「パーソン・オブ・ザ・イヤー」を受賞した国連広報センター所長の根本かおる氏、「シチズン・オブ・ザ・イヤー」を受賞した「Covid-19多言語プロジェクト」代表の岡本さわこ氏から受賞メッセージをいただいたことが、それぞれの受賞理由とともに記載されています。

[記事協力：株式会社内外切抜通信社]

■■■■■■■■■■ 協会からのお知らせ ■■■■■■■■■■

PRSJの公式 SNS 更新中です！ぜひご覧ください♪

Twitter : <https://twitter.com/PRSJinfo>

Facebook : <https://www.facebook.com/prsj1>

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。
中身の濃い会員誌に育てていきたいとおもいますので、
よろしくお願い致します。

広報員会

Eメール mail@prsj.or.jp

F A X 03-5413-2147

※ 禁転載